

令和6年度 下多度地区福祉活動計画評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	子どもたちの安全・安心な登下校環境の確保
------	----------------------

事業名	推進方法	評価
通学路安全確保事業	・下多度小学校、PTAなどと協力し、通学路の安全点検を継続し、通学路の安全確保を図る。 ・スクールガードボランティアによる、下校時の見守り活動を継続する。 第1・第3水曜日を基準に、下多度小学校と調整して、月2回実施する。	○

現状及び今後の方針

一部の方が毎日のように登下校の見守り活動をしていただいていたが、5月の部会で校長先生から毎日の下校時の見守り要請があり、協力できる方は毎日活動することとした。
10月、岐阜県安全・安心まちづくり賞 安全・安心まちづくりボランティアの部として、下小スクールガードボランティアが県知事表彰を受賞した。
地道な活動ではあるが、今後も継続していかなければならない活動として、事業を継続したい。

重点課題	自然や地域を生かした子どもの遊ぶ機会の創造
------	-----------------------

事業名	推進方法	評価
子どもの活動を豊かにする事業	・地域の小学校、子ども育成会と協力して、多くの子どもや父母に参加してもらい、講師を招いて地域の歴史の学習や、自然の素晴らしさを感じてもらいたい。 ① 外来魚の駆除事業と生態系の勉強会の実施 ② お寺での歴史の勉強会と縁日 ・地域で活躍している団体や個人にも協力していただき、事業を展開する。	○

現状及び今後の方針

天候により開催ができない事もあり、室内での事業も展開していく

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和6年度 下多度地区福祉活動計画評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	高齢者の買い物や通院の手段がない
------	------------------

事業名	推進方法	評価
高齢者移送サービス事業	・従来から進めている高齢者移送サービス事業を、協力会員の無理のない範囲で継続実施する。 ・引き続き協力会員の募集を行う。 ・スマートフォンを活用して協力会員相互の連携を図り、負荷の平準化を図る。 ・デマンドバスの活用や、近親者による送迎を優先するよう、利用会員に要請する。 ・福祉目的から逸脱しない利用を、利用会員に要請する。 ・移送サービス事業への積極的な参加を、自治会、民生委員児童委員等に要請する。	○

現状及び今後の方針
・令和7年2月現在、利用会員は27名、協力会員は新規登録の2名があるも4名と不足状態が続いている。 ・協力会員の負荷減少を目的として、節度ある利用を要請するため「送迎サービス利用会員様へのご願い」と題する文書を、利用会員に配布した。

重点課題	高齢者の生活支援ニーズが多岐にわたり拡大している
------	--------------------------

事業名	推進方法	評価
生活支援「ちょこっとお手伝い」事業	介護の資格がなくてもできる「ちょこっとお手伝い」で、高齢者に寄り添う生活支援を行う。	○

現状及び今後の方針
・依頼内容は、草刈りと庭木の手入れに集中している。 ・民生委員児童委員の見守り対象の住民に対して、ゴミ出しなど、ちょっとした困りごとがあれば、支援要請につながるよう広報活動が必要と考える。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和6年度 下多度地区福祉活動計画評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	防災意識の高揚と、各家庭の備えの強化
------	--------------------

事業名	推進方法	評価
啓発活動による防災意識の高揚と、各家庭の備えの強化	○啓発活動の推進 ・防災かわら版 → 2ヶ月に1回発行 ・防災ポスター → 9月に更新 ・研修会の開催 ○自主防災組織への働きかけと提案 ○避難所の開設、運営方法の勉強会	○

現状及び今後の方針
・防災ポスターは9月と1月に更新した。ポスターを入れるパックシートも一部破損で2か所交換した。 ・令和6年12月12日の村岡治道先生の「事前の備えと事前の共助」（海津市自治連合会主催）を受講し、我々の活動の妥当性を確認できた。 ・今後の方針：自治会と「重点課題」の共有と協働を図るため、自治会に対し働きかけと提案を行っていきたい。

重点課題	高齢者の交流機会が少ない
------	--------------

事業名	推進方法	評価
しもたどサロンの開催	・下多度地区全体を対象とする「しもたどサロン」を開催する。（時期未定）地域の多くの高齢者の集いの場となるように、「ひとり暮らし高齢者の集い」を兼ねて実施する。 ・自治会区域で行われているサロンを通じて、広く呼びかけを行う。 ・新型コロナウイルス感染症は、第5類に変更後も一定の感染が見られる。令和6年度も慎重に判断しながら、早めに関催の判断をしていく。 ・高齢者が感染した場合、重症化することが多いことから予防のためマスクの着用、手指の消毒等、リスクを極力少なくできるよう対策を講じて実施する。 ・食事に関しては、持ち帰り等、検討をしていく。 ・リーフレットを作成し、サロン等、参加の呼びかけを行う。 ・他地区のボランティア活動の内容を参考にする。	○

現状及び今後の方針
○部会自体が「広域サロン部会」であるので、方向性ははっきりしている。より多くの方に参加してもらえるように工夫をしていく。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和6年度 下多度地区福祉活動計画評価表

スローガン	見守って 声掛けあって 地域の絆は 下多度から
-------	-------------------------

重点課題	①住民同士の交流機会が少ない ②高齢者の交流する機会が減少している
------	--------------------------------------

事業名	推進方法	評価
しもたどフェスティバル開催事業（協働開催）	1) 地域交流会の開催 : 「しもたどフェスティバル」の開催 2) 開催日 : 令和6年8月14日（水）に開催を計画 3) 会 場 : プラザしもたど（駐車場前面＋コミュニティーセンター含む全館） 4) しもたどフェスティバル実行委員会に加わり、新型コロナウイルス感染対策も含めた部会活動を実施する。 ①「ぬり絵・射的・ストラックアウト・輪投げ」等を企画して実施する。 ② 新規イベントを企画して実施する。 5) 自治会・中学校・小学校等に周知して、協力を要請する。 6) 中学生・小学生等、各種団体や個人に参加を募る。 7) 新型コロナウイルス感染症防止対策を、海津市・自治会・実行委員会等の関係者と相談して実施する。 8) 真夏の開催で最近の危険な暑さであり、スタッフ・参加者年齢を考慮した対策を考慮して実施する。 9) しもたどフェスティバル実行委員会に計画を提案し、実行委員会に加わって活動する。 10) 地域の住民と共に、常に新たな企画を検討して、積極的に取り組んで行く。	○

現状及び今後の方針
・ぬり絵参加者で、下多度小学校児童だけでなく、近隣小学生の参加や中学生の参加が増加した。 ・ぬり絵・ストラックアウト・射的・輪投げ・スポーツ吹矢の5種の他に幼児用遊具室が開設できた。 ・前回の参加者の景品取得の偏りを種目別に景品分割し、偏り減少させることが出来たと思われる。 ・協力中学生のイベント担当において、ローテーション等を検討する。 ・後期高齢者の参加が多くあり、新企画を検討したい。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった